

北海道サケネットワーク

ニュースレター 11

09. 11. 9

- ・ **総会・サケ会議終了（報告）**
- ・ **通信・連絡方法の改善（問い合わせ）**
- ・ **事務局便り**

北海道サケネットワーク総会

北海道サーモン協会サケ会議

終了

09. 10. 31

札幌市豊平川 **さけ科学館研修室**

北海道サケネットワーク09総会、ならびに、北海道サーモン協会09サケ会議の合同会議が、10月31日、札幌市真駒内のさけ科学館を会場に行われました。サケの最盛期もあって、会員数12、参加者30名の参加にとどまりましたが、両会議とも、参加者の熱心な意見交換があり、盛会理に終えることが出来ました。

また、終了後のささやかながらの交流会も、年一回の顔合わせ、それぞれの地域情報なども入り交じり、多いに盛り上がりました。

会議の記録は、後日、会報等で報告致しますが、その概略発議の通りです。

なお、参加団体は次の通りです。 (順不同)

北海道水産孵化場 水産総合研究センターさけますセンター
北海道大学理学院 札幌市東白石小学校 札幌市豊平川さけ科学館
札幌市環境局みどりの推進部 とかち・帯広サケの会
大雪と石狩の自然を守る会 マルス札幌中央水産(株) マルダイ 佐藤水産(株)
日本釣振興会北海道支部 北海道サーモン協会

【09サケネットワーク総会】

会議の冒頭、今年3月12日に逝去された太田会副代表（とちち）帯広サケの会会長）のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、開会しました。

会議では、参加会員の近況報告や話題提供など熱心なご紹介とともに、議事は事務局原案の経過報告、活動計画案が承認され、役員を選任を終えました。

1. '10活動方針

- ① 会の基本である「情報交換」の点検強化に努める。そのため、連絡方法の点検と会員からの情報提供の促進を図る。
- ② 予算規模からも大きな活動は出来ないが、可能な限り、会員のサケ問題に対する取り組みを後援し、その活動を通して、一般のサケに対する認識を助長し、やがては当会が掲げている「北海道のサケ」運動への理解を広める。

会員の取り組むサケ問題には、現在次の3つがある。

- ・ 石狩川本流系の自然産卵サケの実現とそ上障害の除去
(大雪と石狩の自然を守る会)
- ・ 千歳川のサクラマス等魚類の種場の保守
(日本釣振興会北海道支部)
- ・ 札幌市豊平川さけ科学館の存廃問題

2. 役員選任

役員任期は2年で、今期は途中年に当たるが、太田副代表の逝去に伴い新役員を選出が行われ、満場一致で、とちち帯広サケの会の千葉養子副会長が選出され次の執行体制が承認された。

(敬称略)

代 表	浦野明央 (北海道大学理学院名誉教授)
副 代 表 (新)	寺島一男 (大雪と石狩の自然を守る会代表・前幹事)
事務局長	木村義一 (北海道サーモン協会代表)
幹 事	市村政樹 (標津サーモン科学館)
幹 事	山道正克
幹 事 (新)	千葉養子 (とちち帯広サケの会副会長)
監 査	鼻輪憲和 (えにわ市民サケの会会長)
監 査	石黒武彦 (さけますセンター業務推進課長)

【09サケ会議】

北海道水産孵化場長河村博氏の座長で、次の発表が行われました。

1. 講演「豊平川のサケ」札幌市豊平川さけ科学館 岡本館長

同館が連年行ってきた豊平川サケの調査結果が報告された。その綿密な計画と把握できた詳細なデータから、実証までにはまだ解明すべき諸問題を抱えながらも、「豊平川サケ」の定着を伺わせる結果も出ており、市民念願の「豊平川DNA」創出に明るい望みのある報告となった。

2. トピック「石狩川のサケ放流について」—その期待と問題—

大雪と石狩の自然を守る会寺島代表

さけますセンターが関係団体の後援で、今年の放流から始まった石狩川への大量サケ放流について解説するとともに、回帰時に障害となる本流えん堤の実態を解説した。

3. トピック「千歳川の魚サンクチュアリー」—問題と期待—

日本釣振興会木村北海道支部長

現在、千歳川上流1.5kmの区域に設定されている釣り禁止措置が、制度上の問題から、2年後には解禁になる方向をたどっている。しかし、その水域は、調査の結果からサクラマスを中心とする魚類の一大産卵生息地になっていることが判明しており、釣り資源の恒久的な維持からも解禁による影響が憂慮される。「これからの時代は、釣り人も魚類の保護に真剣に対処すべきだ」「全国でも希な魚のサンクチュアリーの実現を」との主張と説明があった。

事務局便り

- ・ アキサケの季節も終盤にさしかかっています。予想が外れもあり、悲喜こもごもの浜模様かと思えます。
- ・ ネットワークも4年目、情報交換を軌道に乗せる年にしたいものです。具体的な投稿のお願いもしていきます。ご協力ください。
- ・ ご協力ついですが、会費納入もよろしく。正会員年間3千円以上です。

・ 通信・連絡方法の改善（問い合わせ） **要回答**

会員への通信・連絡は、発足当時の申し出により、○パソコンeメール利用と ○非利用に分けて行ってきましたが、時には、情報が届かなかったなどの事例もあり、今後は出来るだけ実情に合った方法を、と考えています。

事務局としては、・情報の迅速性、経費の軽減、省力の点から格段に優位なパソコン活用をお願いした経過があり、今後も可能な限りパソコン活用をご検討頂きますが、当面の方法について下表から選んでご連絡ください。

《回答をお願いする会員》

- ・ えにわ市民サケの会
- ・ 石狩川下覧権
- ・ 高橋水産(株)
- ・ 網走漁業協同組合
- ・ 長万部漁業協同組合
- ・ 十勝エコロジーパークガイドの会
- ・ 十勝川自然再生協議会
- ・ 安平町マチおこし研究会

※ その他の会員については、総会出席等で既に回答を得ておりますので、回答は不要です。

【会員名】 （上のお願ひする会員名に○をつけてください）
【区分】 A： メールで良い。（会報を含む） B： メールはあまりチェックしていないので、メールしたら連絡を。 C： 会報などの大物はメールでよいが、連絡などはF a xか郵送で。 D： メールは全く使っていない。
【回答】 区分から選んでください。 【 】

回答は、eメール、F a x（011-894-0081）、郵送でお願いします。